

2024年12月4日

長崎県議会事務局 御中

(FAX : 095-824-3094)

井 上

貴議会議長及び議員宛ての抗議書を添付して提出いたします(本書を含めて合計12枚)。

お手数ですが、貴議会議長及び全議員にお渡してください。

原本については追って貴事務局宛てに郵送いたします。

以上

2024年12月4日

長崎県議会議長殿
長崎県議会議員各位

氏名： 井 上

(連絡先

氏名： 井 上

抗議書

私・井上は、本年10月29日付けで長崎県議会議長、総務委員会委員長及び委員各位に宛てて抗議書（以下「10月29日付け抗議書」といいます。また、その写しを添付いたします。）を提出した者です。

総務委員会における抗議書への対応は、あまりにも犯罪被害者の心情を蔑ろにするものでしたので、下記のとおり、改めて強く抗議いたします。

なお、私と共に眞鍋栄二による詐欺被害にあった妻も、長崎県議会の対応に強く憤っておりますので、今回は妻と連名で抗議いたします。

記

1 私たちの身上、眞鍋からの脅迫等

10月29日付け抗議書において詳細にご説明したとおり、総務委員会集中審査に「元監査人」なる立場で参考人招致された小橋川英二（旧姓：眞鍋。以下「眞鍋」といいます。）は、2020年4月から2022年11月までの間、の実姉と婚姻関係にありました。

つまり、眞鍋の義理の妹であり、私は眞鍋の義理の弟の立場にあったのです。

私は、10月29日付け抗議書の提出に際し、本来であれば、私の現在の住所地も記載するなどしたかったのですが、眞鍋からの報復が怖かったので住所

を記載することはできませんでした。

そのような中、私が心配していたとおり、10月29日付け抗議書の提出後、眞鍋から複数回にわたって脅迫めいたメールが届きました。

その一例として、本年11月27日に眞鍋から送られてきたメールを添付します。

そのメールの中には、「先般、■■■■氏に会いました。」「許せん。■■■■氏も必死に探してるし、貴方に関係するところに電話したりしているらしいです。」「それから、『ヤラセ抗議文』のことです。」「あなた方はたった50万をもらい政治の裏も知らずに手を貸した二人なんです。そのようなことから■■■■氏をはじめ報道他も探しています。」「■■■■、■■■■にも行くそうです。ほんまにバカなことをしました。」などと書かれていました。

■■■■という人物は眞鍋の周辺者です。

また、眞鍋がメールの中で「あなた方」とか「二人」と言っているのは、私と妻のことであり、■■■■私の実家であり、■■■■妻の実家です。

眞鍋は、私たちが、長崎県の「政治の裏」も知らずに、長崎の政治家等から50万円をもらって、「手を貸し」て「ヤラセ抗議文」を送ったと決めつけた上、眞鍋の周辺者が私や妻を探していると伝えてきたのです。

私たちは、そのメールを見て、底知れぬ不安を覚え、眞鍋が投稿している「『長崎県知事大石賢吾』の疑惑を追求する会」のブログを見たところ、眞鍋は、本年11月11日付けの記事で、10月29日付け抗議書のことを書いており、その記事の中で、私が抗議書をFAX送信した場所として、■■■■コンビニの写真まで掲載していました。その記事も添付します。

眞鍋は、私たちに対し、「お前たちの近くまで来ているぞ」というプレッシャーをかけてきているのです。

長崎県議会は、このような脅迫めいたことをする人物に媚びへつらいながら参考人としての答弁を求めているのです。

念のために述べておきますが、もちろん、私たちは政治の裏側なんて知りませんし、知りたくもありません。

私たちが、10月29日付け抗議書の提出に際し、長崎の政治家から報酬をもらったとか、政治家のどなたかに手を貸すために抗議書を出したなどという事実は一切ありません。

眞鍋は、沖縄県庁、総務省、法務大臣、総務副大臣等の名義の公文書偽造を繰り返しながら、私たちを騙し、私たちは、2020年から2022年までの間に、眞鍋から合計約■■■■円を騙し取られたのです。詳しくは、10月29日付け抗議書を読んでいただきたいと思います。

私たちは、総務委員会が、税金を使って、そんな眞鍋を参考人として招致し、

得意気に話をさせるという対応が許せなかったから、10月29日付け抗議書を提出して抗議したのです。

そうしたところ、私たちの不安が的中して、眞鍋から脅迫めいたメールが届くようになり、FAX送信元の店舗に来たと思われる写真までブログで公開されました。

ですから、大変心苦しいのですが、本抗議書についても、怖くて住所を記載することはできません。

そのかわりに、私たちの運転免許証の写しを一部黒塗りして添付いたします。

どうか、議長及び議員の皆様には、10月29日付け抗議書及び本抗議書につき、眞鍋に情報を漏洩することなく、真摯に取り扱っていただきますよう、お願いいたします。

2 10月29日付け抗議書に対する総務委員会の対応について

(1) 集中審査での議員の発言

私は、総務委員会が、詐欺の手段として公文書の偽造まで行うような眞鍋を参考人として招致した上、委員たちが、危機感をもつどころか、まるで眞鍋に教えを請うような態度で質問する姿をネット動画で拝見し、貴議会の対応に危うさを感じて、僭越ながら10月29日付け抗議書を提出したのです。

それにもかかわらず、集中審査の場での委員らの対応は耳を疑いたくなるものばかりでした。

特に、ある委員の発言には心底失望し、あまりの悔しさに繰り返し再生して確認しました。

その委員は、10月29日付け抗議書が手元に届いたことを踏まえ、当日の集中審査の中で、「参考人の身元がいろいろと書いてあります。こういうのをいわゆる個人情報というんだろーと思います。これを勝手に公開して、そして、その参考人の身分を汚すというか、信用ならない人なんだ。それを長崎県議会がまともに取り合いやるのはおかしい話と。税金を使ってと。」などと抗議書の内容を紹介しました。

その上で、その委員は、「我々は正しいことをしようと思っています。」「我々は正しいことをしているんですよ。間違ったことはしていません。」などと言いつつ、眞鍋に対し、「参考人は、そこに恐怖を感じられるだろうと思いますが、同じく、私も、一人夜に歩きよると、どこかから誰か来るんじゃないかと思うかもしれません。テレビにも映るのでね。でも、それで負けようたら、やっぱりこの長崎県が良くなれないわけですから、どうか最後までよろしくお願ひしたいと思います。」と語りかけました。

自分たちがやっていることこそが正義であり、耳障りなことを言うてくる者

に「負けるわけにはいかない」と決めつける態度は、あまりにも独りよがりすぎるのではないのでしょうか。

せめて、10月29日付け抗議書に記載していた私のメールアドレスに連絡してきて事実確認を行うとか、私が切実な思いで訴えた事実関係の有無を眞鍋に尋ねた上で、「それでも自分たちは正しい」と言うのであればまだしも、眞鍋がどんな人物なのか、また、公文書を偽造するなどして自らの立場を偽ったことがあるかといったことについて眞鍋に質問すらしないまま、「我々は正しいことをしているんですよ。間違ったことはしていません。」などと断言してしまう独善的な態度には心から失望しました。

(2) 令和6年11月定例会での総務委員長の発言

令和6年11月26日に開催された貴議会定例会において、総務委員長が、集中審査の結果報告を行う中で、「集中審査期間中、委員会審査の妨害を意図するような行為があった」と報告していました。

私が切実な思いで提出した10月29日付け抗議書は「妨害を意図するような行為」と片付けられてしまったのでしょうか。

少なくとも私にはそう感じられました。

長崎県議会に犯罪被害者の救済を期待していたわけではありませんが、まさか、ここまで愚弄されるとは思ってもおらず、ただひたすら悲しく悔しい思いです。

集中審査の中での個別の委員の発言だけでしたら我慢しようとも思いましたが、本会議の場で、総務委員長から審査妨害行為とまで言われたのはさすがに許容できず、改めて、本抗議書を提出する次第です。

3 結論

以上のとおり、残念ながら、私が切実な思いで提出した10月29日付け抗議書は総務委員会で怪文書扱いされ、妨害行為とされてしまいました。

犯罪被害者の声を全く無視した長崎県議会の対応には強く抗議いたします。

私たちは、眞鍋のように告訴告発を乱発するようなことはしませんし、それをこれ見よがしに公開するようなこともしません。確実に眞鍋の詐欺行為を裁いていただける方策を取ります。

今般の長崎県議会における一連の対応の危うさについては、今後、司法の場で明らかになると信じております。

以上

2024年10月29日

長崎県議会議長殿
長崎県議会総務委員会 委員長殿
長崎県議会総務委員会 委員各位

井 上

抗議書

昨日から10月30日までの日程で長崎県議会総務委員会集中審理が開催され、その集中審理に、大石賢吾知事の「元監査人」を名乗る人物が参考人として招致される予定と聞きました。

これにつき、下記のとおり、強く抗議いたします。

記

- 1 「元監査人」は、本年9月30日にも参考人として招致されていました。

私は、知人から、その話を聞き、参考人質疑が録画された動画を視聴しました。声や話し方からすると、「元監査人」は、現在「小橋川栄二」と名乗っている男で間違いはないはずです。その予想は、昨日の総務委員会で田中愛国議員が誤って名刺を読み上げ「マーサーストラテジー」と発言したことで、確信に変わりました。

小橋川栄二は、現在、小橋川姓の女性と結婚して、その姓を名乗っておりますが、2020年4月から2022年11月までは、私の妻の姉の夫だったのであり、その当時は「眞鍋栄二」という名でした。

つまり、私は、当時、眞鍋栄二の義理の弟だったのです。加えて、2020年5月から2022年6月まで私が代表を務める会社の社員でもありました。

以下、眞鍋栄二（小橋川栄二）のことは「眞鍋」といいます。

- 2 眞鍋は詐欺師です。

本年10月2日、大石賢吾知事が記者会見を行い、その中で、「元監査人」について、「総務省から特命委託を受けて、県の会計監査をやっているということだった。」「元監査人が総務省との間で結んだ『特命委託契約書』なる不自然な契約書が見つかった。」などと話しているのを見ました。

私も、2020年から2022年までの間、大石知事が会見で話していたの

と全く同じ手口で、眞鍋から騙され、合計で■■■■円のお金を騙し取られました。

私は、2020年当時、■■■■会社を経営していたものの、コロナ禍で業績は悪化しておりました。

そのような中、眞鍋は、私たちに対し、「私は、総務省からの特命委託を受けて、沖縄県予算の会計監査の仕事をしている。」と自称しながら、その地位を利用して、沖縄県■■■■の仕事を紹介してやると言ってきました。

私たちは、その言葉を信じ、約2年にわたって、眞鍋から言われるまま、眞鍋の沖縄での活動拠点として、眞鍋が現在も居住している■■■■賃料月額90万円の高級マンションの賃料を負担させられ、さらに、眞鍋に、高い給料や業務に関係のない多額の金銭を支払わされるなどしたのです。

その間、私たちは、眞鍋から、頻繁に、「■■■■許可してもらうために沖縄県に審査する書類の提出をする必要がある」と言われて、何十通もの書類を連日作成させられ、眞鍋に渡していました。また、眞鍋は、同じくらいの数の「沖縄県庁総務部行政管理課」名義の文書を偽造して「検収結果」と称し、私どもに渡してきていました（これらの文書はすべて保管しています）。

その後、2022年6月になって、私どもが眞鍋に騙されていたことに気づき、自分たちで沖縄県庁に確認したところ、私たちが作成して眞鍋に渡した書類は一切沖縄県に提出されておらず、また、眞鍋から私たちに渡されていた押印のされている「沖縄県庁」名義の文書は全て偽造されたものでした。

また、大石知事が記者会見の中で話していた、総務省との「特命委託契約書」なる不自然な契約書ですが、私たちも、眞鍋から、全く同じタイトルの契約書を見せられたことがあります（その写しを今でも持っております）。

それ以外にも、私たちは、眞鍋から、いずれも眞鍋栄二を宛名とする「法務大臣」名義の嘱託辞令や、「総務副大臣」名義の「令和4年度の特命嘱託について」という文書を見せられたこともあります（それらの写しを今でも持っております）。

今になって考えれば、全て眞鍋が偽造したものだったのだろうと思います。

3 長崎県議会は、眞鍋がこのような人物だということを把握しているのでしょうか。

長崎県議会は、総務省、法務省、沖縄県等の公的機関の名を騙った上、公文書を偽造して詐欺を行うような人物を「参考人」として招致しているのです。

その上、委員の皆さんが、腫れ物にでも触るように、下手に出ながら、眞鍋（小橋川）に質問をしている姿を見ると、腹が立って仕方がありませんし、そのような対応が眞鍋（小橋川）をますます増長させるのではないかという不安

も感じます。

長崎県議会は、税金を使って詐欺師を参考人として招致し、得意気に話をさせているのです。

私どもとしては、このような文書を公表することによって眞鍋（小橋川）から報復を受けるのではないかと怖れる気持ちがあります。

しかし、現在の長崎県議会の対応は、我々被害者にとっては、到底承服できるものではありませんので、強く抗議いたします。

以上



[redacted] Inoue <[redacted]@gmail.com>

Re: 続報

1 件のメッセージ

kobashigawa <[redacted]>

2024年11月17日 15:27

To: [redacted] 井上 [redacted] <[redacted]@gmail.com>

先般、[redacted]氏に会いました。

私のブログをあげていたらしいな。

許せん。

[redacted]氏も必死に探してるし、貴方に関係するところに電話したりしているらしいです。

それから、「ヤラセ抗議文」のことです。

ブログ等（責任編集私となっていますが長崎の二人が編集しています）により発表、また、プレスリリースもしていますとおり、脅迫、名誉毀損、侮辱等で長崎地検に告訴しています。

大石とあなた方二人です。

その調書も先日、長崎で作成しました。

こんなことになるとは思わなかったでしょう

しかし、ご存知かとは思いますが、私は命を狙われていますが、奴らに立ち向かっています。

あなた方はたった50万をもらい政治の裏も知らず手を貸した二人なんです。

そのようなことから[redacted]氏をはじめ報道他も探しています。

[redacted]、[redacted]にも行くそうです。

ほんまにバカなことをしました